

## 今後の方針（案）

### 1. 今後の公共交通に関する方針について

- ・葛城市の公共交通の課題や目標設定等を踏まえ、公共交通については以下の方針（案）とすることが考えられる。

#### （1）ルートが重複しているコミュニティバス路線を効率化する。

- ・葛城号と当麻新庄線は重複区間が長く、お互いのバス停も近い場所にある。
- ・また、アンケートでは「利用者増加等で市の費用負担を減らし運行継続する」が3割と最も多く、市民は費用負担を減らすことを要望している。
- ・以上のことから、ルートが重複している葛城号と当麻新庄線を統合して、その他のコミュニティバス路線の市内全域の効率化を図る。
- ・統合した場合の利用者に対する影響を勘案し、「コミュニティバスのルート変更」や「デマンド交通の導入」などの方法で市民の公共交通サービスを確保する。

#### （2）市民のニーズを踏まえた公共交通サービスを確保する。

- ・アンケートで、市民の出かける目的としては、「買い物」が最も多い状況である。  
※市民の現在の「出かける主な目的」は買い物が37%と最も多い。  
※改善後にコミバスで行きたい目的地は、市内及び市外のスーパーの要望が多い。
- ・しかし、コミュニティバスのバス停は、主に公共施設（市役所、福祉施設等）の近くにあり、商業施設前（スーパーなど）は少ない状況である。
- ・以上のことから、「買い物」に行きたいニーズを踏まえ、「コミュニティバスのルート変更」や「デマンド交通の導入」などの方法を検討する。

#### （3）受益者負担の考えのもと、公共交通サービスを有料化の方向で見直す。

- ・アンケートで、コミュニティバスは「有料化して運行を継続する」の意見が約4割と最も多かった。
- ・一方、アンケートでは「利用者増加等で市の費用負担を減らし運行継続する」が3割と最も多く、市民は市の費用負担を減らすことも要望している。
- ・以上のことから、受益者負担の考えのもと、公共交通サービスを有料化の方向で見直す。